2026年度川崎市不登校に係る保護者支援事業

# 学校に行かない子どもがいる保護者向け

# 学習会

「どう関わればいいのか分からない」「この先どうなるのか不安」
そんな不安や戸惑いを抱えていませんか。
この学習会では、子どもを変えようとするのではなく、子どもと安心できる関係を大切にしながら
3つのテーマについて一緒に学びを深めていきます。

## 1回目 7月5日(日) 14:00-16:00

（開場時間　13：30）

### 子は子として、親は親として生きていくための まなざしと支え合いについて

同じ経験を持つ人同士が支え合うことの力とは何か。家庭や学校だけではない「支えの輪」を考えます。

講師 **相川良子氏**

NPO法人　ピアサポートネットしぶや
理事長

公立中学校教諭などを経て、行政職員として地域が支える「中高生の居場所」づくりを始める。現在は、不登校、ひきこもりの若者に向き合う活動に合わせて公立中学校での校内カフェ、校内居場所、生徒主体のマルチスポーツプログラム開発などにかかわる。ピアサポーターのかかわりの内容と思いを受け止めて一緒に見立て(スーパービジョン)をするスーパーバイザーの役割を担う

申込開始日　6月12日(金) 正午～

## 2回目 9月5日(土) 13:00-15:00

（開場時間　12：30）

### 子どもの育ちとアタッチメント

子どもは、人との安心できる関係のなかで育っていきます。ここでは、アタッチメント(愛着)をテーマに子どもの心の育ちや親子の関わりについて一緒に考えます。

講師 **遠藤利彦氏**

東京大学大学院教育学研究科 教授
博士（心理学）

聖心女子大学文学部講師、九州大学大学院人間環境学研究院助教授、京都大学大学院教育学研究科准教授などを経て、2013年から現職。
専門は発達心理学・感情心理学等。主たる研究テーマは親子関係・家族関係と子どもの社会情緒的発達。著作に『安心感が子どもの心を育む』2025年（小学館）など。

申込開始日　8月18日(火) 正午～

## 3回目 11月21日(土) 13:00-16:00

（開場時間　12：30）

### 当事者研究の世界

### 子どもたちが見ている「生きることの風景」

当事者研究は、仲間とともにテーマを共有し、対話を通じ試行錯誤を重ねながら自分らしい生き方、暮らし方をともに模索します。
「自分自身で、ともに」

講師 **向谷地生良氏**

社会福祉法人 浦河べてるの家　理事長
北海道医療大学大学院・学部・
先端研究推進センター特任教授

1955年、青森県生まれ。北海道浦河赤十字病院でソーシャルワーカーとして勤務。当事者とともに教会の一室で共同生活を送り、1984年に「べてるの家」を設立。2001年にはじまった「当事者研究」の実践を通して、全国各地で対話の活動を行っている。著作「向谷地さん、幻覚妄想ってどうやって聞いたらいいんですか？（シリーズ ケアをひらく)」
他、著書多数

申込開始日　10月21日(水) 正午～

**場所**　川崎市高津区下作延5-30-1 川崎市子ども夢パーク2F　多目的ホール
JR南武線の津田山駅より徒歩５分

**対象者**　川崎市在住・在学のお子さん(小学生～高校生年齢)を持つ保護者

**定員**　各回50名（先着順、定員になり次第受付終了）

**申込方法**　お申し込みフォーム(右記の二次元コードより)

**参加費**　無料

3回目申込コードはこちら

問い合わせ先　認定NPO法人 ﾌﾘｰｽﾍﾟｰｽたまりば
freespace@tamariba.org
044-850-2055

川崎市
KAWASAKI CITY